



第4図(A). 2017年度採取土壌を用いた土壌細菌分画の呼吸活性(E)&(F)を説明変数, はえぬきの収量を目的変数とした重回帰分析 (外れ値1点(8-B)を除く).

$$\text{収量} = -16.8225 \times (E) + 2.2784 \times (F) + 637.5721$$

外れ値: 8-B, データ数 15, 寄与率 0.598, 重相関係数(R2) 0.773, 自由度調整済 R2 0.729, 残差正規性の SW 検定確率 0.1240, 残渣の正規性ありとみなす. 重回帰式の検定利用可能とみなす. 重回帰式の有効性の検定 F 検定値 8.9239, 自由度 2, 12, 確率値 0.0042, 重回帰式は有効であるといえる. AIC 156.964, DW 比 1.656, VIF 値 共に 1.018, 標準化係数: RA-U; -0.5034, RA-S; 0.5234